

耕畜連携視察研修会を行いました！

～百聞は一見に如かず～

安房農業事務所改良普及課 令和7年3月10日発

安房地域では水田転作の手段として、デントコーンやソルガム等の牧草が昔から作られています。平成21年頃から稲WCSも取り組まれるようになりました。しかし稲WCSに関しては他地域の先進事例に学ぶことが多く、2月28日に管内の水稻農家及び畜産農家10名と関係機関4名で、山武市の稲WCSに関する視察研修会を行いました。

始めに稲WCSを利用する酪農家でサイレージの品質や牛群等を見た後、市内コントラクター、山武市役所との情報交換を行いました。参加者からは「コントラクターの運営状況が参考になった」、「市役所が需給の把握を行い、市単独の助成金まで出しているのは一つの事例として参考になる」などの感想が聞かれ、今後の取組を考える機会になりました。農業事務所では今後も耕畜連携の参考になる研修会を開催します。



牧場では稲WCSのロールを開封して品質を見せていただきました。



市内コントラクター、山武市役所と情報交換。
「山武市って進んでる！」